

人 口 (男) ……4,761人
(女) ……5,088人
計 ……9,849人
6 月中の転入 ……23人
転出 ……19人
世 帯 数 ……2,299世帯
(6 月末日 住民登録調べ)

広報は、毎月10日に発行を予定
しています。中学校生徒会の委託
により、各家庭に配布されますの
で、届かない場合は役場総務課に
お知らせください。
広報へのニュースの提供や意見
等もおまちしています。

「くらしを守れ!!」 と願いをこめて

“米価要求”で総決起大会

「今年こそ、生活できる米価を実現しよう。」と、17日、合川町農協ホールで、総決起大会が開かれました。会場には、2百人近くがはちまき姿で参集。切実な願いを込めて「農業を守ろう」と訴えました。

水田再編の強化など、本
当に厳しい情勢です。人間
が生きていくことの基本
は農業ですから、どうして
も農業を守らなくては、と
思います。そのためには他
人ごとではなく、一人一人
が力を合わせて、最低線の
要求ですから、ぜひ実現さ
せたいものです。



李 岱 清原利雄さん

一人一人が
真剣になって

他の物価ばかりがどんど
ん上がる中で、このままで
は安心して生活ができませ
ん。米を中心にして、生産
物を安心してつくっていけ
る生活をつくりたいものだ
です。そのためには、基本と
なる米のねだんをなんとか
上げてもらわないと――。
私たち主婦のためにも――。



木戸石 畠山久子さん

切実な
主婦の声を

全国大会で全国の仲間と
ともに、農民の声を訴えて
きました。アメリカ大使館
前で輸入作物をへらせろと
叫んだ時は、心の底から
大声がわき上がってしまし
た。消費者である都市の人
からも、大きな励ましがよ
うせられ、本当に力強く思っ
てきました。



下 杉 木村悦郎さん

消費者からも
声援が



災害復旧と 再災害防止に全力を

六月定例町議会は、十六日から四日間
の日程で開かれました。

町長の 行政報告

今年の転作等目標面積は
前年より四十六ヘクタール
増の百五十六ヘクタールで
すが、五月末現在百六・三
%の達成率が見込まれてい
ます。

米の限度数量の本町配分
は、九万二千四百三十三袋
(俵)で、昨年に比べて二
千六百七十五袋の減になり
ました。この数字は平年作
でも余り米が出るものと予
想されます。

・生産者別配分については
町の再編対策委員会、農
業共済引受収量を基本に配
分することに決定されてい
ます。

阿仁合線の廃止問題では
現在、鷹角線の工事予算が
凍結されており、また、工
事が完成しても国鉄では運
行を拒否する情勢です。こ
のため、県を中心に、工事
予算の確保を緊急の課題と
して取り組むことにしてい
ます。

昭和三十四年度決算は、
一般会計で七千三百五十六
万二千円の黒字が見込まれ
ています。財政の健全化が
継続的に確保され、効率的
な運用がなされたものと思
っています。また国民健康
保険特別会計では三千九百
万円余、合川診療所特別会
計では四百万円余の黒字に
なる見込みです。

町内では、交通事故が異
常事態と言えるほど続発し
ています。職域、地域ぐる
みで、緊急な対応を、もう

一般質問 から

四月の融雪災害の復
旧状況はどうか。今後
の抜本的な対策は?

損害額は七億円を超える
ものと推定されており、応
急対策をすすめながら早期
復旧に全力をあげてしまし
た。水田の植え付けは、ほ
ぼ完了。土木関係では、
再災害の防止の立場から、
県に対しても根本的な対策
を要望しています。堤防、
河川、堰堤、ダムなど、あ
らゆる面で検討し話し合っ
ていく方針です。

起債、補助金の返還
によって、町の財政へ
の影響はないか。

決算状態も良く、財政運
用への影響は特にありませ
ん。起債の繰り上げ償還に
よって、財政内容が健全化
したと思っています。

大野台の福祉施設の
今後の拡充計画は?
運営に議会、町の代表
を加えるべきではない
か。

今後は、障害者の老後のた
めの施設の建設、現在の施
設の拡充の構想があります。
福祉施設の経営については
「援助はするが、口は出さ
ない」というのが、原則とさ
れており、当町もその方針

駅前地区は、字名、
字界が現在の街の姿に
あっておらず不便が多
い。字、界の新設にと
り組む時期だと思いが
あります。

隣接部落との協議、調整
が条件になります。住民の
要望も多いようですが、関
係者話し合いを待ちたいと
思います。

乳幼児保育所を設置
すべきではないか。

入所希望者も少なく、今
すぐ設置する考えはありま
せん。将来的には検討して
います。

学校体育をはじめ、
実践する教師を育成す
るため、町としての方
策はないか。

教師として、基本的には
要な姿勢だと思っております。
「積極的な教育」を呼びかけ、
だが、補正の主な内容です。

六月二十七日、上杉長
に招かれた。酒は日
本酒のほかに、持ち寄
った梅酒、卵酒などであ
った。それに重箱に思い
いの煮物などのほか、お
りて飲みこむなど面白
むすびや赤飯もあった。
た。

昔、畑作
で難儀したが、
今、小規模の
成りものを植
えると、とて
も楽しい。畝
をつかって、
汗がばたばた
と土に沁(し)
みると、あと
でかえって気
持ちも体の具
合いもよい。
おじいさん

私のあいつはやめに
から出た樺太の出稼の
して、ぐるりと廻って雑
話や、四方やまの思い出
話を、いっしょになっ
て、梅酒やまたたび酒も
いながら、どくだみやげ
しょうこの焼酎や酒も
素晴しい。材料を開花期

町長日記から

町長日記から

可決された 主な議案

固定資産評価審査委員の
選任、人権擁護委員の推薦
固定資産評価審査委員に
は松橋義雄氏(道城)六十
五歳)、人権擁護委員には
菊地弘勝氏(羽根山)六十
八歳)、土濃塚イマ氏(芹沢
八十八歳)をそれぞれ再
任することに同意しました。
過疎地域振興特別措置法
にもとづいて、五カ年間の
町の長期計画が建てられ
ました。

予算の補正
一般会計で二億二千七百
三十五万二千円を追加。道
路関係約五千九百万円、災
害復旧費一億三千百万円な
る。

「なでると

「そう、つかれが

頭が良くなるの?」

とれて、よくなるよ」

西小学校 郷土めぐりーカラダセン様で

一、二年生のコースは、李岱神社から新田目橋。神主さんの説明に耳をかたむける児童の表情は真剣そのもの。毎日、何げなく目にしていた建物が、今日からは「史跡」として児童の生きた教材になりました。

昭和十一年完成の新田目橋。今年開通する李岱バイパスと。歴史を目で確かめることもできました。

三、四年生は、東根田迦羅陀仙様(カラダセン様)から新田目新田寺へ。迦羅陀仙様では佐藤一蔵さん(東根田寿クラブ会長)が案内役をつとめました。子供たちは、思いがけないほど熱心に話を聞いてくれた。

と佐藤さん。

「なでるとどんな痛みもとれる」と言う「手」の言い伝えに、現代っ子はいいかにも不思議そう。「何の病気でもなるのですか?」「頭は良くなるのですか?」と、次々に質問が飛んできました。

五、六年生は、鎌沢正法院の見学と、南小学校での交流会。ここでは、デッカイ大仏様と対面しました。

「大仏様は男ですか、女ですか?」

「大仏様は、男でもあり女でもあるんですよ。」

「大仏様には子供がいるんですか?」

「いっぱいいます。私もそうです。大仏様を信仰する人が、みんな大仏様の子供です。」案内役のおしよさん(清水忠道さん)も難問の連続に大弱りのよう

東根田公園で 大 歓 声



佐藤さんの一言一言にうなづきながら。

「四十七年にできた焼却場はそろそろ限界。次の対策をみんな考えて」という説明。大きな宿題がふせられました。

続いて「合川新生園」へ

町民に宿題も

町長が町政についての講話。体験は老人に聞け、発想は子供に聞け、正直な人間に聞け。という持論を紹介しながら、町政の課題や家庭のあり方などについて語りました。

ろばた講座は、各方面からも注目されており、参加者も意欲的。「ぜひ、来年も」と、早くも参加申し込み



1人1人の深刻な問題ーゴミ
改めて考えさせられた1日でした。

みか寄せられています。
木村公民館長(教育長)

ろばた学生も社会勉強 ゴミ処理場・新生園を視察

働き盛りの成人男子でつくっているろばた講座では、十四日、移動研修会を開きました。移動研修は、昨年に続いて二回目。今年は、六十名の参加者が集まりました。

は「これからは守りの時代。勉強し、見聞して、足もとから固めていこう」と受講生を激励。町づくりの中核を担うろばたは、成人層にすっかり根をおろしました。

西小学校では、二十九日、課外活動の時間で、町内めぐりを行いました。町内の歴史的な建物などを見学しながら、それぞれで、「人」と対話。ふるさとをナマで確かめようというこの授業は、児童の笑顔でいっぱいでした。



大仏様を前に、何をお願いしたのかな。

「先生の記録」
心の中にふるさとを築き、見させ郷土を見直し、自分たちのふるさとをよき先祖の人たちの苦労によって現在のわたしたちの生活があるのだという感謝を味わわせることを目的に実施しました。

帰校後校内発表会を行ない、すばらしい成果を挙げることができました。特に、身近にあるこうした事物を見て今更のようふるさとに對しての感動を得たようでした。

(福岡龍太郎先生)

「先生の中にふるさとを築き、見させ郷土を見直し、自分たちのふるさとをよき先祖の人たちの苦労によって現在のわたしたちの生活があるのだという感謝を味わわせることを目的に実施しました。」

「先生の中にふるさとを築き、見させ郷土を見直し、自分たちのふるさとをよき先祖の人たちの苦労によって現在のわたしたちの生活があるのだという感謝を味わわせることを目的に実施しました。」

先生の記事・生徒の記録から

今まで気がつかなかった
りっぱなもの

「先生の中にふるさとを築き、見させ郷土を見直し、自分たちのふるさとをよき先祖の人たちの苦労によって現在のわたしたちの生活があるのだという感謝を味わわせることを目的に実施しました。」

「先生の中にふるさとを築き、見させ郷土を見直し、自分たちのふるさとをよき先祖の人たちの苦労によって現在のわたしたちの生活があるのだという感謝を味わわせることを目的に実施しました。」

「先生の中にふるさとを築き、見させ郷土を見直し、自分たちのふるさとをよき先祖の人たちの苦労によって現在のわたしたちの生活があるのだという感謝を味わわせることを目的に実施しました。」

「先生の中にふるさとを築き、見させ郷土を見直し、自分たちのふるさとをよき先祖の人たちの苦労によって現在のわたしたちの生活があるのだという感謝を味わわせることを目的に実施しました。」



この日の一番の楽しみ
フィールドアスレチック
スー東根田公園で。

全国区トップは 目黒氏		衆参選挙 町内開票結果	
(投票率等)		(衆議員選挙)	
有権者数	七、三五一	投票者数	六、一六三
投票率	八四・五三%	投票率	八三・二三%
有効投票	八三・八四%	有効投票	五、九三三
無効投票	二・二九	無効投票	三・七二%
無効投票率	二・二九	無効投票率	三・七二%
持ち帰り	一	持ち帰り	一
(衆議員)		(内は前回)	
佐藤敬治	八八五	佐藤敬治	八八五
石田博英	四四八	石田博英	四四八
佐々木義武	一、三三五	佐々木義武	一、三三五
中川利三郎	九三三	中川利三郎	九三三
川口大助	二、一〇〇	川口大助	二、一〇〇
佐藤敬夫	二、二四	佐藤敬夫	二、二四
沢田政治	二、七二四	沢田政治	二、七二四
佐々木満	二、三七六	佐々木満	二、三七六
伊藤昭二	四九八	伊藤昭二	四九八
(参議員全国区)		上位二十五位まで	
①目黒けさ次郎	九七二	①目黒けさ次郎	九七二
②田中正巳	四二二	②田中正巳	四二二
③藤原房雄	三三七	③藤原房雄	三三七
④河原太一郎	三三八	④河原太一郎	三三八
⑤岡部三郎	三三〇	⑤岡部三郎	三三〇
⑥井上孝	三二八	⑥井上孝	三二八
⑦立木洋	二八六	⑦立木洋	二八六
⑧岡田広	一七〇	⑧岡田広	一七〇
⑨鳩山威一郎	一六一	⑨鳩山威一郎	一六一
⑩長田裕二	一五五	⑩長田裕二	一五五
⑪いたがき正	一〇四	⑪いたがき正	一〇四
⑫山田昭子	九三	⑫山田昭子	九三
⑬松浦いさお	九二	⑬松浦いさお	九二
⑭宮田輝	八八	⑭宮田輝	八八
⑮中山山夏	八四	⑮中山山夏	八四
⑯向井長年	八〇	⑯向井長年	八〇
⑰青島幸男	七四	⑰青島幸男	七四
⑱市川房枝	七三	⑱市川房枝	七三
⑲和静夫	七一	⑲和静夫	七一
⑳鈴木和美	六三	⑳鈴木和美	六三
㉑片山基一	五九	㉑片山基一	五九
㉒山口淑子	五四	㉒山口淑子	五四
㉓かすや照美	四八	㉓かすや照美	四八
㉔源田実	四七	㉔源田実	四七
㉕田沢ともはる	四六	㉕田沢ともはる	四六

全集落で集団転作に取り組み

～現地確認作業終わる～



町と農協、共済組合では、20日から、水田再編の現地確認作業を行ないました。再編事業3年目で面積も大幅にふえ、苦悩の中にも意欲的な取り組みが目立っています。

テープを張ってすむ
確認作業

今年、全集落で集団転作の方向が整いました。来年度からは、水田再編の二期目。さらに条件が厳しくなることが予想されているため、複合経営の確立が急がれています。

作目では、およそ三分の二の面積で価格保障のある大豆を選択。下小阿仁地区を中心に、夏秋きゅうりの栽培がふえているのが目につきます。

農協カントリわきには、農産物加工施設(塩蔵施設)が完成。きゅうりは、規格外のもの、価格が合わないものは塩蔵用に回すことも可能とされています。この

作物名	特 定 作 物				一 般 作 物										計
	大豆	飼料作物	そ ば	計	小豆	野 菜	セ リ	タ バ コ	ク ワ イ	果 樹	そ の 他	計	計	計	
面積(%)	16,587	11,158	3,562	424	15,144	235	329	20	419	52	40	348	1,443		
	100	67.3	21.6	2.6	91.5	1.4	2.0	0.1	2.5	0.3	0.2	2.0	8.5		

金耕一さん(弥栄40八歳)が、秋田県の指導農業者に認定されました。

農業者は、近代的な農業を実践し、すぐれた成果をおさめ、その成果に基づいて地域農業の指導者となりえる人へのみ、認定されるものです。金さんは酪農部門でのモデル的な成果と、地域での活動が認められ、五日、認定証書が授与されました。

当町の農業者は、後藤隆氏(下杉)、伊東紀喜氏(杉山田)に続いて三人目。指導農業者の認定は、金さんが初めてです。

金さんは、これからは地域農業青年の指導とともに先進地農家留学、研修生の受け入れ農家として、在宅指導にも意欲を燃やしています。



県指導農業者に
金 耕一さん

町政みこころ

一〇五号線T字路に
信号機を
問 当町から鷹巣方面に
むかう車のために、一
〇五号線と県道とのT
字路(川口地内)
に信号機を設置し
てほしいものです。
(五十代男性)

当該課の意見

当該T字路に
ついては、町、安全
協会でも再三にわた
って要望を重ねてい
ます。しかし、鷹巣
橋が大型車の交差で
きない状態であるた
め、信号機を設ける
と、かえって混雑し、
危険であるとのこと
で見送られています。
今後、信号機を要
望するにあたり、道
路の改善を要望
するとともに、道路
改善の促進につい
ても要望を重ねる方針です。

道路工事の後しつと

林道、護岸工事が行
なわれまると、車輦の
しつかりと
の枝がはみ出している所
草や障害物が道路上に置
かれていて、所々どみな
で注意したいものです。

みんなで道路を大切にしましょう

当該課の意見
道路はみんなの道
路です。広くきれいな
道路を守るため協
力ををお願いします。庭木
の枝がはみ出している所
草や障害物が道路上に置
かれていて、所々どみな
で注意したいものです。

あ、美人が通るが 十七メートル

注意を配り安全運転を

車を運転中は、前方はもちろん、後方、左右にも、まっ
べんなく目を配らなければな
りません。そのために、ルー
ミミラー、サイドミラーがっ
いています。

ところで、あなたは、どん
な割合で前後左右に視線を配
っていますか。

「安全運転に欠かせない目
の配り方は「四・三・二・一」
を一つの目安に」と日本大学
生産工学部の宇留野藤雄教授
言っています。

前方……「4」
後方……「3」
右サイド……「2」
左サイド……「1」

の割合で視線を「配分」し
ながら、前後左右の状況を的
確につかんで運転することが
大切、というわけです。

初心者の事故に共通してみ
られる原因の一つに、前方に

夏の交通安全運動

11月26日～

- 子供と老人の事故防止
- 無謀運転・暴走族の追放
- シートベルト・ヘルメットの着用

飲酒運転追放県民運動

8月1日～

速四十キロで走っていたとし
ますと、この一・五秒の間に
約十七メートルも進むことに
なり、前方不注意でたいへん
危険です。チャラが一・五秒
をお忘れなく。

健康大学一般開放講座 7月24日 役場会議室

あなたの身の回りにある薬草の利用や楽しい
家庭づくりのための実技などです。

講師 秋田県野草の会々長 小 松 昌二郎氏
秋田大学助教授 茂 泉 陽 子氏

楽しい講座で健康づくり 話し合ってお気軽にどうぞ!

お知らせ

町のこよみ (行事予定)

七 月	18日	大館北二区学童野 球大会(広域球場)
	21日	ゲートボール講習会 (兼沢農村公園)
	22日	福祉運動会(ハイラ ンド)
	24日	健康大学 社会を明るくする 公開ケース研究会
	25日	町民体育祭
	27日	阿仁部学童球技大会
	31日	寿クラブ森吉登山
八 月	2日	中学野球県大会
	5日	少年キャンプ (ハイランド)
	8日	町内少年球技大会

家を建てたら 税の軽減手続きを

住宅や土地の取得に對し
て課税される県税(不動産
取得税の軽減措置が四月一
日(住宅の新増築は七月一
日)から取得するものにつ
いて次のとおり改正されま
した。

従来、一戸当り一律に三
百五十万円を控除する特例
が認められていたが、
これが新増築された住宅の
床面積が百六十五平方メー
トル以下で評価額が一平方
メートル当り八万七千円以
下である住宅に限り認めら
れるようになりました。ま
た一定の条件を満たす中古
住宅の取得、中古住宅のあ
る土地の取得についても軽
減が認められるようになり
ました。

いずれも、住宅や土地の
取得の日から六十日以内に
申告しないと、軽減は受け
られません。さらに、一年
以内に、車庫の建て増し等
によって、要件を超えると
適用が除外されますのでご
注意ください。

くわしくは、秋田県税事
務所(電話〇一八六・四九
一・三二二)におたずねく
ださい。

気をつけよう 農薬事故

- ◎ 農薬を保管するときは
鍵をかけて保管しな
い。
- ◎ 空容器は土に埋めるか
焼くなどして、完全に処
理してください。子供が
空容器を使用し事故を
起こしたことがあります。
- ◎ 農薬散布は、帽子、マ
スク、メガネ、手袋など
服装を整えてから行な
いましょう。
- ◎ 健康でない人や疲労し
ている人は農薬の中毒に
なりやすいので散布作業

募 集

百キロコンペの 体験作文

内容「わが家の体力づく
り」「私の歩き方」
「地域の百キロコン
ペ」などコンペを題
材にしたものであれ
ば内容は自由です。
締切七月三十一日
提出先 合川町公民館
百キロコンペの標語、マイ
ニング(駅前)・パンドー
ーについて再募集し
ています。

軍人恩給資格者 の会が発足の 会が

旧軍人で軍属恩給の欠格
者の全国連盟秋田県連合会
支部が結成されました。
この連盟では、恩給資格
者の軍歴年数に對して、年
金などの補償を求めようと
いうものです。昭和五十三
年に全国連盟が組織され、
市町村単位の支部の組織化
がすすんでいます。

会員の資格は、町内に在
住する旧軍人、軍属または
これに準ずる物故者の遺族
で、恩給に該当していない
人となっています。

会では、「会員以外は今
後の補償にもれることもあ
いらず」と、加入を呼びかけ
ています。申し込み、問い合わせは、役場福祉課または
支部役員におたずねください。
支部長 島山鶴松(道城)
事務局長 金田正一郎
(西根田)

愛の血液 助け合い運動

七月一日から
輸血用の血液が必要なのは
七月に限ったことではあ
りません。しかし、例年、
夏場は一年のうちで最も血
液が不足しがちです。七月
八月は、旅行者や帰省者が
多いことから、献血率が
大幅に下がる傾向がある
からです。

採血は医師の診断に基づ
いて行ないますので心配は
ありません。献血後は普通
の生活、普通の量の酒や入
浴も支障ありません。

献血の前に血液比重、コ
レステロールなど数種の検
査を行ないます。異常者に
はその結果が知らされます
ので、自分自身の健康管理
にも役立ちます。

町では、特に「おめでた
い」と、加入を呼びかけて
います。申し込み、問い合
わせは、役場福祉課または
支部役員におたずねくださ
い。貴重な命が救われる例は、
少なくありません。そのた
め、家族や友人から二名程
度の献血によって、万が一
備えようというわけです。
次の日程で、職場献血を
重点に献血車が来町する予
定ですので、ご協力をお願
いします。

八月十九日・九月十七日
「地域の百キロコン
ペ」などコンペを題
材にしたものであれ
ば内容は自由です。
締切七月三十一日
提出先 合川町公民館
百キロコンペの標語、マイ
ニング(駅前)・パンドー
ーについて再募集し
ています。

輝く太陽のもと、 すこやかに伸ばせ、 心とからだを!

夏の青少年健全育成運動

7月20日～8月17日

夏の防犯運動

7月26日～8月25日

合川町防犯連絡協議会
合川町青少年問題協議会



十数年ぶりの対面も 大内沢出身者の集い

去る4月6日、東京上野公園で旧大内沢出身者の集いが開かれました。この集いは、今年が4回目。なかには十数年ぶりに顔を合わせた感激的なシーンも見られたとのこと。『郷里をなつかしみ、家族や友人の話に花を咲かせた。みんな身内というひとときの安らぎと親しみが、年月をこえたかたちで表われていた』大内沢出身者の会では、来年は三浦半島で再会を約束し合っています。幹事役の藤島喜八郎さん(上尾市)からおたよりをいただきました。



寿パワーで花いっぱい運動を 八幡岱・鎌沢・長寿クラブ

町内では、今年も道路わきを花で飾る運動がすすめられています。鎌沢、八幡岱では寿クラブが花いっぱい運動を展開しました。「部落が美しくなって、お年寄りの楽しみもできた。」と、八幡岱寿会長の柴田末松さん。「花で迎え、花で送り、部落の平和と発展を」と鎌沢寿会長の御所野長三郎さん。くわをふるい、水を運んで、なかなかの重労働。美しい町づくりの先頭に立って、みんないっしょうけんめいに汗を流していました。



公民館活動の事例を交換 第4回地域づくり研修会

第4回地域づくり研修会は30日、大野台ハイランドハウスで開かれました。この研修会は、部落公民館のリーダーが活動の方向を学び合うため、毎年開いているものです。今年の研修会には90名が参加。県新生活協議会専務理事 野呂田兼雄氏を招いて、先進地の事例などを学習しました。「連帯感の中で個性的な活動を展開してほしい。壮年集団の活動に期待する」と野呂田氏。意見交換では、雪田部落で実行している酒一升運動などが紹介されました。

どのチームも 全員参加で 盛り上げよう

第26回 町民体育祭
体力づくり
7月27日(日)合中グランド

地域活動だより 39



じっちゃ、ばっちゃ 若さでゴゴ

ことぶき大学の第四回レクとスポーツの集いは、二十日、合中グランドで開かれました。
第一部は「若さで行こう」を相言葉にスポーツ大会。まず、準備体操をかねて、山田ミチ先生(レク一級指導員)が「長生き健康体操」を指導。若い人がビックリするようなダンス音楽にあわせて、全身を動かします。日頃から、体をきたえてい人も多く、腰のふり具合もまだまだ若いモンには負けません。まずは、軽くひと汗。
ボール送り競争、風せん割り競争と競技がすすむにつれて、応援席の声も一段と高くなりました。「じっちゃ、ガンバレ」「ばっちゃ、しっかりー」。
ことぶき大学生が得意のゲートボールリレー。今年も町民体育祭の正式種目になりました。ゴルフのようにはボールを打つこの競技は、どの選手もそうとう練習を積んでいるようす。名ゴルフアーを發揮していました。
午後の部は、あなた出番です。と題して、かくし芸大会。のど自慢、演芸と出し物もいっぱい。さかづきを廻しながら、こちらも、若いモンには負けていません。「まだまだ長生きすべしな」と約束し合いながら、笑顔と歓声があふれる楽しい集いになりました。

写真1 背すじ、指先をピンと伸ばして、まだまだ若い。
写真2 背すじ、指先をピンと伸ばして、まだまだ若い。



「この商品でこんな事故が」とみんなメモを。欠陥商品の実物や、映画などを使ったわかりやすい講習は、受講生から好評。『主婦の責任を一層深く感じました』と。次回消費者講座は、八月上旬に計画。秋田大学教授堀江正男氏が「消費者の権利と責任」について、講演の予定です。



東北電力から、二灯の防犯灯が贈られました。「明るい町づくりに役立ててほしい」と毎年、取り付け工事や火災警報機が届けられています。赤十字の最も大切な事業経費は、一般社員に負担をかけることなく、社費によってまかなわれ、合川支部の活動費として還元されています。

日赤社員に
二千八百八十五世帯
日赤合川分区分では、六月に社費納入を呼びかけました。対象世帯の九八%にあたる二千八百八十五世帯から協力をいただきました。

善意の寄付 (敬称略)
○おめでとうございます
豊村 文 政志 二女 増沢
平川喜登 喜一郎 二男 李岱

御所野 かな 勝次 長女 駅前
三浦 陽 謙三 三男 三木田
津幡 重希子 重雄 長女 道城
松岡 求 公義 長男 羽根山
福岡 美保子 四郎 八女 三里
藤島 幹子 和博 二女 木戸石
吉田 現 勝美 長男 川井
●おくり物 勝美 長男 川井
森岡 ムラ 84 政治母 道城
伊藤 キサ 81 鉄治母 杉山田
工藤 惣左エ門 83 本人 上杉
相馬 シン 80 愛母 三木田
三浦 ヨシ 89 隆母 三木田
赤石 貴政 8 政司長男 駅前
木村 修司 65 本人 李岱

安全ですか? あなたの買い物

町消費者会 町消費者会 (会長 新田テイさん 福田)と県、町の三者が共催で、「消費生活講座」が開かれました。この講座は、物の豊かな生活の中で、合理的で安全な生活を守るために、開設されたものです。来月三月までに六回の講座を計画。婦人層ばかりではなく、青年層や男性の参加も呼びかけています。

「商品の安全と被害」について学習。県生活センター所長 高橋絹子氏が、実際の事故例などを紹介しながら、講演しました。「商品の表示にじゅうぶん注意をすること。見かけにとらわれず、安全を完全に確かめること。」と、買い物のコツを指導。必要以上の着色された食品、事故の起きやすいアイデア商品など、身近に危険がいっぱい。特に幼児のおもちゃが、死亡事故につながったケースを紹介されると、受講者は身をのり出すようにして、説明に聞き入っていました。

今年も
ハリマツサージ
の奉仕
六月十日から四日間、今年も県立盲学校のみなさんが、ハリ、マツサージの施業奉仕に訪れました。毎年の善意の訪問は、お年寄りにはすっかりおなじみ。町内の各会場は、どこもいっばいで、感謝の声がきかれました。



木村修司氏
社会福祉法人 秋田県民生協会常務理事
公立米内沢病院に入院中のところ、二十八日午後五時四十五分逝去されました。享年六十五歳。氏は、昭和二十二年合村役場に入られ、昭和三十一年の合併後は、総務課長補佐、民生課長、町民課長、調査室長、病院事務局長を歴任。助け合い金庫の創設、全国に先がけての敬老年金制度の発足、町立保育園の開設など社会福祉宣言の町づくりの基盤をつくる先頭に立ってこられました。

昭和四十年には、精神薄弱者援護施設の誘致に尽力。自ら社会福祉法人組織に身を投じ、県内有数の福祉団地づくりを進められました。町では、社会福祉の町づくりへの献身と、偉大な功績を讃え、氏を町政功労者として表彰。葬儀は、一日、大野台の里で民生協会葬として、執り行なわれました。